

2025年7月15日

2025/09/30追記

東京外国語大学生協

組織部学生委員会TuCos

岡田大知、青木雄太郎、早川莉乃

2025年度たふわん企画書

記

【企画名】 たふわん

【日時】 2025年11月20日～24日

【場所】 外語祭

【目的】 外語祭と連動した生協企画を行うことで、もっと身近に生協食堂を利用してもらうため。

【目標】

投票数200人以上。

【企画内容】 外語祭専攻語別料理店の人気料理投票企画。

1. 外語祭の各専攻言語の料理店から料理を1品ずつエントリー。
2. 外語祭期間中、「生協食堂で提供してほしい料理」の投票を実施。
3. 優勝した料理を生協の食堂で提供する。

【実施方法】

①各専攻語別料理店店長に料理の名前と詳細なレシピの提供を依頼

- ②生協食堂店長に食堂提供可否の判断を依頼
- ③各専攻語別料理店店長にたふわんにエントリーする料理の完成写真の提供を依頼
- ④外語祭期間中、googleフォームにて投票を実施
→外実と合同の投票フォームを希望
- ⑤外語祭フィナーレにて優勝メニュー発表及び表彰
→表彰状はTuCoSが用意
- ⑥来年度春学期に生協食堂で優勝メニューを提供

【準備スケジュール】

夏：外語祭実行委員会と企画全体の話し合い

外実との話し合い後：各語科料理店(店長・副店長)にたふわんの企画説明・参加呼びかけ

9月-10月頃：各料理店にエントリーする料理のレシピ提出の依頼、生協食堂店長に各料理の
食堂提供可否の確認を依頼

11月～外語祭前日：ポスター・宣伝POP等の準備、外実と最終調整※投票フォーム作成
(?)

外語祭最終日：投票結果確認、表彰状作成（テンプレは事前に準備）

外語祭後：優勝した料理のレシピを料理店に再確認（分量・提供価格）、その後生協食堂店
長に連絡

翌年度春学期：優勝料理の期間限定提供、開催時期に合わせて宣伝

【課題】

● 外実との役割分担

去年は、投票フォームや投票場所などを統合することを提案。しかし、優勝メニューが3つ
になるなどの混乱が生じた。

[外実と投票フォームを統合する利点]

- ・料理店投票が2種類あることによる来場者の混乱が解消される
- ・外実と協力することで投票数向上が期待できる

[外実と投票フォームを統合する欠点]

- ・企画の生協との関わりが薄れる懸念
- ・企画の一部がTuCoS視点でブラックボックス化、優勝メニューの食堂提供に際して混乱が生じる恐れ

▶解決案

- ・投票フォームを外実と共同で作成する(フォームの共同編集者になる)。投票フォームのたふわんの部分はTuCoSが編集する。

● 食堂提供不可のメニューの扱い

全てのメニューが提供不可の料理店が発生する場合がある。投票全体の公平性をどう担保するか。

▶解決案

- ・投票フォームに含めるが、順位付けから除外する
 - ・そもそも提供不可メニューは投票に入れない
 - ・各料理店から「一品ずつ」という制約を撤廃する
- 料理店対抗という区別そのものを無くす&投票に参加できるメニュー数をなるべく多く確保

● 田村店長への負担軽減

たくさんのレシピの提供可否を確認するのは大変。去年は優勝メニューのみの確認であったので楽だったが、優勝メニュー3品のうち2品が提供不可であった。

▶解決案

- ・提供不可の基本的な条件を田村店長に聞き、各料理店からレシピを貰った時点でTuCoSがある程度提供可否を選定する

2025/09/30 追記

たふわんの存在を各語科にあらかじめ通知。

その後、各語科のメニューの募集方法として、2025/10/05提出の最終メニューを事務局にいただき、オープンチャットで提供不可なメニューをアナウンスする。

また同じタイミングで、投票内容の詳しい話をする。

2025/11/4追記

田村店長にレシピを直接確認していただけることになりました。

以上